

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

## 事業名 **新**ワーケーション対策事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光企画課 国内誘客係 電話番号：058-272-1111 (内 3076)

E-mail：[c11334@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11334@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 9,360 千円 (前年度予算額：0 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	9,360	0	0	0	0	0	0	0	9,360
決定額	9,360	0	0	0	0	0	0	0	9,360

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

全国的に拡大する新型コロナウイルス感染症の影響で、県内の観光産業は、これまで経験したことの無い非常に厳しい状況に置かれている。その中で、政府が「新しい旅行や働き方のスタイルとして普及に取り組む」とした「ワーケーション」について、県がR2年度に実施する企業側の需要調査(アンケート)の結果を踏まえ、岐阜県観光連盟が受入れ側の旅館・ホテルの実態及び需要調査を行う。また、サステイナブルな視点により、地域の魅力的な観光素材を旅行商品化することで、今後需要が見込まれるワーケーションの長期滞在の楽しみ方を提案する。さらに、商品化した体験プログラム等をテストマーケティングとしてWEBで販売することにより、ブラッシュアップを図る。

### (2) 事業内容

#### ①ワーケーション実態調査事業 (0 千円)

観光連盟会員の宿泊施設に対してワーケーションへの取り組みの現状及び需要等の調査を実施する。

#### ②地域観光素材の商品化事業 (9,360 千円)

県内の市町村、観光協会等と連携し、サステイナブルツーリズムにつな

がる地域の観光素材を旅行商品化するとともに、WEBサイトで販売する等によりマーケティングを実施し、プログラムのブラッシュアップを図る。

### (3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県全域をまたがる国内誘客の推進は県の事業であり、県負担は妥当。

### (4) 類似事業の有無 無

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	9,360	① ワークेशन実態・需要調査 ② 地域観光素材商品化事業
合計	9,360	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想

Ⅱ ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり

3 地域の魅力を高め、観光交流を拡大し、消費を増やす

(人を呼び込み、地域の消費を拡大するために)

岐阜県観光振興プラン

### (2) 国・他県の状況

国：7/27 政府の観光戦略実行推進会議で、観光と仕事を両立したワークエーションの普及などに言及。

他県：

・和歌山県・・・平成29年度からワークエーションの取り組み開始。

Wakayama Workation Networks の推進

・長野県・・・商店街の空き店舗などの遊休施設を拠点として整備。平成31年3月に「信州リゾートテレワークフォーラム」を開催、ワークエーションに興味をもつ企業などを対象にワークエーション拠点としての長野県の魅力やメリットなどをPR

・三重県・・・令和2年、ワークエーションプランの企画、必要な環境整備及びモニタリング実施等のモデル事業を募集

### (3) 後年度の財政負担

新型コロナウイルスの影響による緊急支援事業のため、単年度事業である。

## 県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	ワーケーション対策事業費補助金
補助事業者（団体）	（一社）岐阜県観光連盟
補助事業の概要	<p>（目的）ワーケーションに対する需要調査とともに、長期滞在を見据えた体験プログラムの開発、ブラッシュアップに取り組む岐阜県観光連盟を支援する。</p> <p>（内容）</p> <p>① ワーケーション実態・需要調査</p> <p>② 地域観光素材商品化事業</p>
補助率・補助単価等	<p><b>定額</b>・定率・その他</p> <p>① ワーケーション実態・需要調査</p> <p>② 地域観光素材商品化事業</p>
補助効果	岐阜県の観光消費額のさらなる増大
終期の設定	終期 令和3年度

### （事業目標）

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>ワーケーションを推進することで、本県への観光入込客数及び観光消費額を増大させる。</p>
--

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1年度末)	目標 (R2年度末)	目標 (終期)
①観光消費額	2,933億円	2,200億円	3,300億円
②観光入込客数（実数）	4,603万人	2,900万人	4,900万人

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	千円	千円	千円	(予算額) 千円	(要求額) 9,360千円
指標①目標					3,300億円
指標①実績				(推計値)	(推計値)
指標①達成率				(推計値) %	(推計値) %
指標②目標					4,900万人
指標②実績				(推計値)	(推計値)
指標②達成率				(推計値) %	(推計値) %

(前年度の成果)

--

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 ワーケーションが広く普及するためには、休日の分散化や企業側の制度整備も必要である。</p>
--

(事業の評価)

・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い     △：必要性が低い	
(評価) ○	政府はワーケーションに対して、「新しい旅行や働き方のスタイルとして普及に取り組む」としており、事業の必要性は高い。
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価) —	
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている     △：向上の余地がある	
(評価) ○	市町村や観光協会等と連携し、観光素材の商品化を行うとともに、WEBで造成した商品を販売し、都度ブラッシュアップを行うことにより、事業の効率化を図っている。

(事業の見直し検討)

--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

<p>継続・削減・統合・廃止 (理由)</p>
-----------------------------